

稲田小学校が避難所となったときに備えて

校長 青木 あゆ子

三寒四温といいますが、暖かい日と寒い日とが交互に続き、徐々に暖かくなっていくこの頃です。学校では、冬休み明けに収まっていた感染症が、再び増えてきています。学校でも換気や手洗いなど感染症対策をしていますが、教室は感染しやすい環境であることから、登校前に体調不良やかぜ症状が見られる場合は、なるべく家で休むようにしていただければと思います。

このところ、国内での地震のニュースが増えています。南海トラフ地震が起きると関東地方でも震度5強（東日本大震災の時に匹敵する揺れ）が予想されています。稲田小学校の避難訓練でも、より実際に即した訓練となるよう、休み時間を想定した避難訓練をしたり、防火扉の閉まった状況での避難を体験したりと改善しています。

児童が在籍している時に震度5強以上の地震が起きたと想定すると、校舎や周辺の状況にもよりますが、まず児童800名を校庭に避難させて怪我の有無や安否の確認を取ります。その間にも心配になった保護者が大勢、校庭に集まってくるでしょう。登下校に使う道路が通行できない状況や、勤務先からなかなか迎えに来られない保護者も出てきます。地域で自宅が壊れた方々も大勢学校に向かうかもしれません。ほとんどの教職員が児童への対応をしている間、地域の避難者の皆様への対応が難しい事が予想され、地域の方々への事前のご説明や、ご理解とご協力が不可欠だと考えます。

そこで、学校をとりまく五つの町内会長の皆様とご相談させていただき、「稲田小学校 避難所ガイド（児童家庭・地域の方向け保存版）」を作成いたしました。近いうちに、家庭や町内会の回覧板等を通じて近隣に配布していきたいと考えております。お目通しいただいて、ご家族でできる準備を整え、いざという時のタイムラインについて話し合い、お子さんにわかるように決めておいていただければと存じます。

かわさきTEKTEKの取り組みにご協力をお願いします！

「かわさき TEKTEK」は、川崎市内に在住、在勤している方々の日常生活で歩いた歩数をスマホで管理し、ポイント化するという取組です。貯まったポイントは、市内の学校に寄付することができ、子どもたちの教育活動に生かされます。今年度は「雨の日や熱中症アラートで外へ出られない日に、教室で友達と仲良く遊びたい！」という願いを叶えるために、カードゲームとボードゲームと、それをしまう収納ケースを購入したいと考えています。

目標金額は130000円で、1月末現在59280円分のポイントが寄付されています。この取組は3月31日まで実施されます。ぜひ、保護者や地域の皆様方には、稲田小の子ども達のためにご協力頂けましたら幸いです。



iPhone版 Android版